

はにい

ぽんぽんっ

平成24年9月24日

黒板の周りにみんな集まって、算数の勉強。3年生です。

「ゼリーが14こあります。一人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。」

みんな、画用紙に書いた自分の考えた式や図を使って前に出て説明していきます。



一人の子が山田先生に指名されました。自信のなさそうな仕草です。でもその子は意を決して前に出て行こうとしました。そのときです。

立ち上がろうとしたその子の肩を、隣の子が、ぽんぽんっ、と励ますようにたたいたのです。すると、その子の表情がぱっと明るくなりました。そして、元気に立ち上がり、前に出て次のような説明を始めました。

「 $14 \div 3 = 4$ 九九の3のだんで近いのを探して $3 \times 4 = 12$ だから4人だと思いました。でもここから先がわからなくて困っています。」

彼女が語った説明は、わかったことの説明ではなく、わからなくなったことの説明なのでした。しかし表情は明るい。

そして、そこから、友だちみんなの、声の連弾が始まったのです。

「3のだんなら $3 \times 5 = 15$ が近いけど、1こ足りなくなっちゃうからかわいそうだしねえ。」

「そうだよ。足りないから $3 \times 4 = 12$ のほうがいいよ。2こあまった方が。」

「だけど2こ残ってる。この2こ、気になる！」

「もったいない。」 「どうすんの!？」

「でも、14こしかないから5人じゃ分けられないよ。」

「うん、やっぱりさあ、分け方としてはさあ、3のだんで14を越しちゃいけないと思う。」

説明した子は、ニコニコしながらみんなの対話を受けとっていました。

かながわ元気な学校づくり通信『はにい』とは、
学校が元気になるように・・・

先生の仕事を受ける

学校に携わる大人たちがしていることを受ける

そして、もちろん子どもたちの育ちを受け取る

そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合きましょう。

感想は ⇒ 専用メールアドレス: inochi4027@pref.kanagawa.jp